

ビジネスクリエーター研究学会 第26回大会

【第6報告】

高齢化社会政策の動機:日本とフィンランド比較

報告者： バッハマン ヤニカ（タルト大学）

<発表要旨>

人口の高齢化は、すべての先進国で起こっています。国連は1982年以来、人口高齢化プログラムを主導してきました。ただし、人口高齢化政策の範囲と政策力は国によって異なります。

本研究では、日本とフィンランドの高齢化社会政策を比較しています。そして、国連高齢化社会プログラムのタイムラインに沿った政策開発を比較します。両国では、高齢化社会政策を確立するための道筋と方法は異なっています。高齢化社会政策の動機は、日本とフィンランドでは異なっています。